

圏央道の開通見通しが 平成 26 年度に

問合せ 都市計画課 ☎(43) 1111
内線 563・FAX(43) 7656

現在、整備が進められている圏央道の埼玉県内2区間の開通見通しについて、国から平成26年度開通予定との発表がありました。

開通予定区間は、つぎのとおりです。

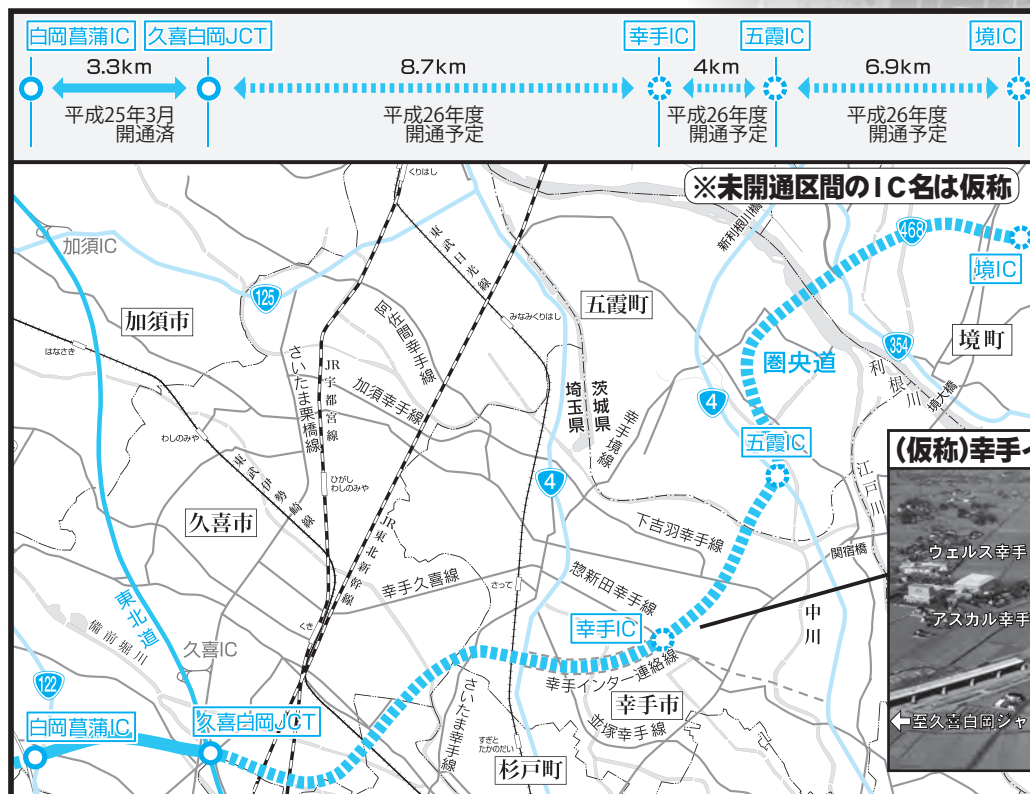
○圏央道(仮称)幸手インターチェンジを含む久喜白岡ジャンクションから茨城県の(仮称)境インターチェンジまでの区間

○桶川北本インターチェンジから白岡菫蒲インターチェンジまでの区間(用地取得などの速やかな完了が条件)

市内でも、開通に向けて高架橋の上部工事が着々と進め

られ、完成後の圏央道の全景が見えてきました。

この圏央道が県内全線開通することで、幸手市から県西部への移動時間が大幅に短縮され、産業の活性化や地域振興に大きな期待が寄せられています。



(仮称)幸手インターチェンジ付近



小学校4年生、中学校1年生12人の子ども編集部員「サーチ隊」が、毎年度テーマを決め、各地を訪ねて取材や体験活動を行っています。

野菜づくりの名人にお話を伺ったり、文化財の歴史資料を見せてもらったりしながら、隊員の目線で見て、そして感じ取った魅力や面白さを一生懸命メモに取り、同年代



さって 子どもセンター 活動中



子どもたちは、青少年期にさまざまな体験活動やボランティア活動をすることで、人間性や社会性を育むことができます。さって子どもセンターでは、5人のコーディネーターと呼ばれるサポーターのご協力により、さまざまな体験活動や情報紙の編集、発行による情報提供などを行っています。



イメージキャラクター: サーチ

問合せ

さって子どもセンター事務局(社会教育課内) ☎(43) 1111 内線 643・FAX(42) 5803

5周年

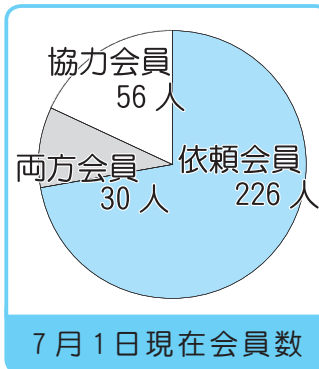
ファミリー・サポート・センター

「子育て中の人」と「子育てを手助けできる人」が会員となり、信頼関係を築きながら、子どもを預けたり預かったりする、地域の子育てをサポートする組織、それがファミリーサポートセンターです。

5年前にウエルス幸手内に設置され、今では会員数も300人を超えました。

▼会員の種類と登録者数

会員には、手助けを受けた依頼会員、手助けをしたい協力会員、依頼・協力を両方兼ねる両方会員がいます。



▼会員登録(会費無料)

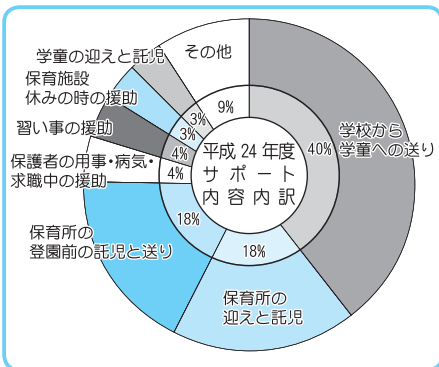
随時、申込みを受け付けています。詳細については、お気軽にお問い合わせください。

▼報酬(利用料金)

土曜・日曜・祝日 および年末年始	平日(月曜～金曜日)	
	午前7時～午後7時	午後7時～
	30分 450円	30分 350円
	右記以外の時間帯	

▼サポート内容

- 保育施設の保育開始前や保育終了後の託児
- 保育施設への子どもの送迎
- 学校の放課後または学童保育終了後の託児
- 兄弟・家族の用事があるときの援助
- 保護者の外出時の援助
- 保護者の求職活動時の援助
- その他、会員の育児に必要なときの援助



こんな声をいただいています

サポートすることで癒しをもらっています。昨年生まれた孫を預かって、ファミサポの経験が生かされて、とても助かっています。(協力会員)

保育所のお迎えと託児を引き受けています。家の子どもたちと一緒に遊んだりお手伝いをしたりと、いつもの生活の中に自然に溶け込んでいて、サポートをしているのを忘れてしまいます。(両方会員)

定期的に朝の託児と保育所の送りをお願いしています。本当の孫のように可愛がっていただき、子どもも楽しみにしています。ファミサポのおかげで仕事が続けられたと感謝しています。(依頼会員)

この5年間で依頼会員の多様なニーズに応える活動ができるようになりました。

地域でのつながりのきっかけとして、また、子育て中の親も子も楽しく暮らせるよう、より多くの会員を募集しています。ぜひ、会員登録をお願いします。

問合せ ファミリー・サポート・センター(ウエルス幸手内)
☎・FAX (42) 8461

の小学生に向けて、情報紙「わく²幸手っ子プチ」にまとめ、発信しています。



季節やテーマに合わせたイラストもサーチ隊によるもので、手作りならではの温みのある紙面となっています。

このほか、子どもセンターでは、コーディネートのみならず、壁新聞「さてライト新聞」も発行しており、サーチ隊の取材の様子や子どもを対象としたイベントなども紹介しています。毎年8月に開催している夏休みバスツアーでは、県内外の博物館などの施設見学やさまざまな体験学習なども行っています。

情報紙・壁新聞は、各公民館、図書館、社会教育課窓口に設置してありますので、機会がありましたら、ぜひ、ご覧ください。

市では、今後もさまざまな活動を通じて青少年の健全な成長を推進していきます。



※市ホームページ (<http://www.city.satte.lg.jp/>) にも掲載しています。